

2.2 ラベル要素

UN GHS

危険有害性情報・有害でないと見なされる製品

注意書き

- 予防・眼および顔面の保護具(保護眼鏡、保護面)を着用する。
物質が浸透しない保護手袋を着用する。
- 応急措置・皮膚に付着した場合:十分な量の石鹼と水で洗うこと。
- 保管/廃棄・涼しく乾燥した場所に保管すること。

2.3 その他の危険有害性

UN GHS

・有害でないと見なされる製品

米国(US)

次に従う: 米国労働安全衛生局(OSHA)29 CFR 1910.1200 危険有害性周知基準(HCS)

2.1 物質または混合物の分類

OSHA HCS 2012

・有害でないと見なされる製品

2.2 ラベル要素

OSHA HCS 2012

2.3 その他の危険有害性

OSHA HCS 2012

・有害でないと見なされる製品。

第3節 組成および成分情報

3.1 物質

3.2 混合物

組成					
化学名	特定名	%	有害	LD50/LC50	規則/指令に従う分類
ポリシロキサン混合物	自社開発	≤ 90%	該当せず		EU CLP: UN GHS 改訂 3 版: OSHA HCS 2012:
イソプロピルアルコール		残余	該当せず		EU CLP: EUH066、眼刺激性 2、H319、アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ 1B、H317、飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ 1、H304、長期間にわたる、または反復ばく露による臓器の障害 1、H372、特定標的臓器毒性 - 単回ばく露 3: 眠気またはめまいのおそれ、H336、特定標的臓器毒性 - 単回ばく露 3: 呼吸器への刺激のおそれ、H335、引火性の高い液体および蒸気 2、H225、EUH018、生殖毒性 2、H361 UN GHS 改訂 3 版: 皮膚刺激性 3、眼刺激性 2、アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ 1B、飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ 1、急性毒性経口 5、長期間にわたる、または反復ばく露による臓器の障害 1、引火性の高い液体および蒸気 2、生殖毒性 2

					OSHA HCS 2012: 眼刺激性 2、アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ 1B、飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ 1、長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害 1、特定標的臓器毒性 - 単回ばく露 3: 眠気またはめまいのおそれ、特定標的臓器毒性 - 単回ばく露 3: 呼吸器への刺激のおそれ、引火性の高い液体および蒸気 2、生殖毒性 2
--	--	--	--	--	---

第 4 節 応急措置

4.1 応急措置の説明

- | | |
|------|---|
| 吸入 | <ul style="list-style-type: none"> 吸入した場合: 呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 |
| 皮膚 | <ul style="list-style-type: none"> 石鹼と真水で身体に付着した場所を洗うこと。皮膚刺激が生じた場合: 医者診察/手当を受けること。 |
| 眼 | <ul style="list-style-type: none"> 眼を開いたまま 15~20 分間、水でゆっくり丁寧に洗うこと。コンタクトレンズを着用している場合には、最初の 5 分後に外し、その後も水洗いを続けること。 |
| 経口摂取 | <ul style="list-style-type: none"> 飲み込んだ場合には、直ちに中毒センターまたは医師に電話し、処置について助言を求めること。 |

4.2 最も重要な急性と遅発性両方の症状および影響

- 入手できるデータはない

4.3 速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

健康への潜在的な影響については第 2 節参照。

第 5 節 火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

小火災: 粉末消火剤、CO₂、水スプレーまたは通常の泡消火剤。

大火災: 水スプレー、水霧または通常の泡消火剤。

不適切な消火剤

入手できるデータはない。

消火手順

大火災: 後で廃棄するために消火活動による水は堤防で防ぐこと。物質をまき散らしてはならない。

大火災: 危険がない場合には、防火区域から容器を移動する。閉所は入る前に換気すること。

5.2 物質または混合物から生じる特定の危険性

異常火災および爆発の危険性

- これらの物質の一部は燃えるおそれがあるが、いずれも容易には発火しない。

有害な燃焼生成物

- 炭素酸化物、二酸化ケイ素、水。

5.3 消防士に対する助言

- 消防士防護服は、構造上、火災状況でのみ限定的な保護が可能である。物質に直接接触する可能性がある漏出状況では有効ではない。陽圧型自給式呼吸器 (SCBA) を着用すること。

第 6 節 漏出時の措置

6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

人への予防措置

- ・ 注意:被害者は、汚染源になるおそれがある。漏出物に触れたり、その中を歩かないこと。

緊急措置

- ・ 速やかな予防措置として、すべての方向で、50メートル(150フィート)以上の距離を置いて、流出や漏出を隔離すること。低い場所から離れること。閉所は入る前に換気すること。

6.2 環境上の予防措置

- ・ 大量漏出:水路、下水道、地階、密閉区域などへの流入を防止すること。消火活動による流出液体により環境汚染を生じる可能性がある。

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法および用具

封じ込め/浄化方法

- ・ 適切な個人用保護具(PPE)を使用する
大量漏出:後で処分するために漏出物のはるか前方に堤防を築く。
少量のこぼれ:後で処分するために砂その他不燃性吸収材料により吸収し、容器に移す。

6.4 参考となる他の節

- ・ 第8節「ばく露防止および保護措置」および第13節「廃棄上の注意」を参照。

第7節 取り扱いおよび保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

- 取扱い
・ 良好な安全および産業衛生基準を使用すること。十分な換気の下でのみ使用する。

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

- 保管
・ 涼しく乾燥した場所に保管すること。

7.3 特定最終用途

- ・ 第1.2節「関連する特定された用途」を参照。

第8節 ばく露防止および保護措置

8.1 管理パラメーター

8.2 ばく露防止

工学的対策/管理方法

- ・ 必要に応じ、環境気中汚染物質を適用される許容限界値未満濃度に制御する適切な換気システム。



個人用保護具の絵表示

呼吸器

- ・ 入手できるデータはない
- ・ 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

眼/顔

手

- ・ 適切な手袋を着用すること。

皮膚/身体

- ・ 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

- 一般的な産業衛生面の考慮事項
・ 労働安全衛生手順に従って取り扱うこと。

環境ばく露防止

- ・ 入手できるデータはない

8.3 その他の情報

- 適切な保護衣、保護手袋、および保護めがね／保護面を着用すること。

第 9 節 物理的および化学的性質

9.1 基本的な物理的および化学的性質に関する情報

物質の説明			
物理的形態	液体	色	わずかに着色した透明液体。
臭い	有機的アルコール臭。		
一般的性質			
沸点	該当しない	分解温度	> 400 °C (> 752 °F)
pH	該当しない	比重／相対密度	= 1.14 水=1
水への溶解度	溶解しない	粘性	120 センチポアズ (cPs、cP) または mPas
可燃性			
引火点	> 70 °C (> 158 °F)	爆発上限界濃度	入手できるデータはない
爆発下限界濃度	入手できるデータはない	自然発火	> 230 °C (> 446 °F)
環境に対する有害性			
オクタノール／水分配係数	入手できるデータはない		

9.2 その他の情報

- 入手できるデータはない

略語解

NDA = 入手できるデータはない

第 10 節: 安定性および反応性

10.1 反応性

- 入手できるデータはない

10.2 化学的安定性

- 常温常圧では安定。

10.3 危険有害反応性の可能性

- 重合のおそれ。

10.4 避けるべき条件

- 高温

10.5 混触危険物質

- 入手できるデータはない。

10.6 有害な分解生成物

- 入手できるデータはない。

第 11 節 有害性情報

11.1 毒物学的作用に関する情報

第 12 節 環境影響情報

12.1 毒性

- 入手できるデータはない

12.2 残存性および分解性

- 入手できるデータはない。

12.3 生体内蓄積の可能性

- 入手できるデータはない。

12.4 土壌中の移動性

- 入手できるデータはない。

12.5 PBT(難分解性、蓄積性、毒性を有する物質)および vPvB(高難分解性・高蓄積性を有する物質)の評価結果

- 入手できるデータはない

12.6 そのほかの悪影響

環境に対する潜在的な有害性 • 入手できるデータはない。

第 13 節 廃棄上の注意

13.1 廃棄物の処理方法

製品廃棄物

- 内容物および／または容器を、国際、国、都道府県、および／または市町村の規則に従って廃棄すること。

包装材料の廃棄

- 内容物および／または容器を、国際、国、都道府県、および／または市町村の規則に従って廃棄すること。

13.2 その他の情報

- 環境への放出を防止すること。

第 14 節 輸送上の注意

14.6 使用者のための特別予防措置 • 入手できるデータはない

第 15 節 適用法令

15.1 物質または混合物ごとに個別に関連する、安全、健康、および環境に関する規則／法律
SARA(スーパーファンド修正及び再授權法)有害性分類• 入手できるデータはない

環境

インベントリー

